

不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合事象が対象になります。

平成20年12月12日に不適合管理委員会で審議された不適合事象は、下記のとおりです。

区分 : 該当なし

区分 : 該当なし

区分 : 該当なし

その他 : 12 件

NO.	号機等	不適合件名	グレード	備考
1	2号機	タービン凝縮水移送ポンプ操作箱扉のパッキンに破損(破れ)が認められたため、当該パッキンを交換。	D	
2	2号機	残留熱除去系冷却水ポンプ(A)室空調機用電動機点検において、負荷側軸受け部品及び回転子軸に擦れ傷が認められたため、対応検討。	D	
3	2号機	残留熱除去系冷却水ポンプ(A)室空調機用電動機点検において、反負荷側回転子軸受け嵌め合い部及び反負荷側軸受ケースに摩耗が認められたため、対応検討。	D	
4	2号機	非常用ディーゼル発電設備(A)系タイマー点検において、タイマ取付アダプター2個に破損(プラスチックのつめ)が認められたため、対応検討。(動作に問題なし)	D	
5	2号機	蒸気加減弁No.2の開閉リミットスイッチ点検において、リミットスイッチ作動用ロッドの固定部品に摩耗が認められたため、当該固定部品を交換。	D	
6	2号機	移動式炉内計装系(TIP)制御盤点検時、チャンネル(D)検出器電源供給装置において、作動不良(電圧が出力されない)が認められたため、当該電源供給装置を交換。	D	
7	2号機	非常用ディーゼル発電設備(A)非常用給気ファン(A)用電動機点検において、ファン軸嵌め合い部及び軸端に擦れ傷が認められたため、対応検討。	D	
8	2号機	非常用ディーゼル発電設備(A)非常用給気ファン(C)用電動機点検において、ファン軸嵌め合い部に摩耗が認められたため、対応検討。	D	
9	2号機	計装用圧縮空気系空気圧縮機(A)点検において、シリンダパッキンにアスベストパッキンを使用していることが認められたため、対応検討。	B	・H21年1月28日再審議にてグレード変更「C B」
10	3号機	停止中の原子炉冷却材浄化系ろ過脱塩器保持ポンプ(B)出入口差圧計において、指示値不良(ダウンスケール)が認められたため、調査及び対応検討。	D	
11	3号機	復水ろ過装置の復水ろ過器再生時、プログラムタイマーCRT画面(状態表示)の表示不能が認められたため、当該CRTを交換。	D	
12	その他	不適合報告書(水平展開分)の処理状況確認において、処置実施箇所に漏れ(1グループ)が認められたため、対応検討。	D	

【凡例】

公表区分	事象の概要	主な具体例
区分	法律に基づく報告事象等の重要な事象	<ul style="list-style-type: none"> ・計画外の原子炉の停止 ・発電所外への放射性物質の漏えい ・非常用炉心冷却系の作動 ・火災の発生 など
区分	運転保守管理上、重要な事象	<ul style="list-style-type: none"> ・以下のうち、法律に基づく報告事象に該当しない軽度な場合 <ul style="list-style-type: none"> * 安全上重要な機器等の機能に支障を及ぼすおそれのある故障 * 管理区域内の放射性物質の漏えいが継続している場合 など ・原子炉への異物の混入 など
区分	運転保守管理情報の内、信頼性を確保する観点から速やかに詳細を公表する事象	<ul style="list-style-type: none"> ・計画外の原子炉または発電機出力の軽度な変化 ・原子炉の安全、運転に影響しない機器の故障 ・原子力発電設備に係わる機器に影響を及ぼす水の漏えい ・圧力抑制室等への異物の混入 ・原子力発電設備に係る業務における人の障害 など
その他	上記以外の不適合事象	<ul style="list-style-type: none"> ・日常小修理 など

【原子力発電所における不適合事象の是正管理】

原子力発電所では、設備の健全性を維持し、安全運転を継続するため、発電所設備の定期検査や運転中の巡視点検、定例試験、点検・修理等を行っております。その中で、「不適合」が発見された場合には、「不適合管理マニュアル」に基づき、必要な是正措置を講じることとしております。

* 「不適合の定義」(JEAG4101-2000より)

本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)

不適合管理グレード分け(不適合管理委員会にて決定)

- As : 法令、安全協定に基づく報告事象
- : プラントの性能、安全性に重大な影響を与える事象
- A : 国、地方自治体等へ大きな影響を与える事象
- : 定期検査工程へ大きな影響を与える事象
- B : 国の検査等で指摘を受けた事象
- : 運転監視の強化が必要な事象
- C : 品質保証の要求事項に対する軽微な事象
- D : 通常のメンテナンス範囲内の事象
- 対象外 : 消耗品の交換等の事象

(お問い合わせ)

福島第二原子力発電所・広報部・企画広報グループ
電話 0240-25-1353